

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年2月26日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPO はらっぱ (担当者名：殿井)
担当課名	生涯学習推進室 (担当者名：秋山)
事業名	放課後の子どもの居場所事業
事業の実施期間	令和2年(西暦2020年)4月8日～3年(2021年)3月20日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(7年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもがあらまの自分の自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供することを目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	実施運営・広報チラシ作成
事業担当課	予算措置、委託契約、補助金申請、補助金実績報告、参加者への周知

(3) 事業費

団体	42,000円	(費目：管理人件費・備品費)
市	476,000円	(費目：委託料)
合計	518,000円	

初年度の事業費計	691,155円	団体分担 131,155円	市分担 560,000円
2年目の事業費計	710,958円	団体分担 143,958円	市分担 567,000円

3年目の事業費計	673,983 円	団体分担 106,983 円	市分担 567,000 円
4年目の事業費計	694,471 円	団体分担 127,471 円	市分担 567,000 円
5年目の事業費計	576,107 円	団体分担 65,807 円	市分担 510,300 円
6年目の事業費計	502,987 円	団体分担 42,515 円	市分担 460,472 円
7年目の事業費計	489,200 円	団体分担 42,000 円	市分担 447,200 円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	阪南市☆キッズはらっぱ
②開催日時	毎週水曜日 午後3～5時・毎月1回土曜日午前10～12時・毎月1回土曜日午後3～5時
③開催場所	阪南市地域交流館体育施設・西鳥取公民館・ふれ愛ホーム・ 西鳥取小学校・尾崎小学校・朝日小学校
④対象者	小中学生
⑤参加人数	年間2000～3500人
⑥事業の内容	子どもがりのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供する
⑦収益	参加費無料（収益無し）
⑧その他	

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大による急事態宣言の発令により小学校の休校に伴い、事業も一時中止としたが、6月からは、感染症対策を徹底して実施した。コロナ禍の影響で、参加者は例年より少なかったが自由にあそび、様々なストレスを抱える子どもたちにとって大切な放課後の居場所であることを実感した。子どもの付き添いで来られた保護者の方から「ここがあれば安心して思いっきりあそばせられる」という感想をいただいた。 ・平日の放課後に参加できない子どもたちが身近な校区で参加できるよう、尾崎小学校、西鳥取小学校、朝日小学校で土曜日の午前開設を実施した。 ・久しぶりに参加した子どもから、「ここは、安全な場所。いい。ソファがあるととってもいい」という声がかかれたり、「毎週、子どもが楽しみにしている」という保護者の声もあった。 子どもが、緊張したり誰かの期待に応える必要もなくリラックスしてもらえる居場所となっている。 ・会場によって違いがあるが、全体的に毎年参加している小学生の子どもたちと保護者の付き添いでの参加もあった。 ・土曜日の午前開設、とくに西鳥取小学校の参加が少なかったため、毎月のキッズカレンダーの他に限定チラシの配布や個別連絡を行ったことにより、友だちを連れて参加される実績もあった。
--

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

- ・新型コロナ感染症防止について6月に生涯学習推進室と打ち合わせを行い、感染防止対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有した。会場ではマニュアルに沿って対応、連絡先カードを回収し、保護者に安心感と子どもたちの感染防止に努めた。
- ・毎月学校配布する案内チラシ「キッズカレンダー」とともに開催小学校限定のチラシを配布し、広報に努めた。
- ・引き続き尾崎会場にはスタッフを増員してボランティアも参加し、子どもたちが安全に過ごせるように努めた。
- ・夏季は、熱中症防止の観点から会場を冷房のある会場に変更して、3密を避けるようスタッフが配慮した。
- ・気になる子どもの様子があった時には、小学校に懇談を申し入れ、状況の共有をさせて頂いた。課題について共有でき、小学校でできる協力をしてくださった。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点） ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点） ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	4	3.5
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	4	3.5
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	4	4
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	4	4
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	5	5	5
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	4	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	3	3.5
	12	予算は妥当でしたか。	4	3	3.5
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	4	3.5

14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	4	4
----	-------------------------------------	---	---	---

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校へ案内チラシを毎月配布し、開催案内を参加対象者に届けることができた。 ・安定した財源により継続して運営し、関わるスタッフの確保ができた。 ・活動の周知の手段として、「広報はんなん」への掲載や公立小中学校へ案内チラシを確実に届けることができた ・引き続き場所の確保ができた。
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・行政だけは人材確保や財政面で事業展開が困難であり、協働にて事業を行うことにより、利用者ニーズに合わせた事業展開を図ることができた。
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日の子どもの居場所ができた。 ・コロナ禍でも安心してあそべる場所ができた

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・「広い場所」「天候に左右されない場所」の確保が課題。夏季には熱中症対策の為に冷房の効く場所の確保が課題。 ・行政との打ち合わせなど定期的に持つことが出来ず、毎月の参加人数や子どもの様子の報告だけで、事業に対しての課題や現状など共有ができていない。 <p>⇒行政と定期的に連携会議を持ちながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所をよりよいものにしていく</p>
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍において、事業の中止や再開において情報共有ができなかった部分があり、今後はよりスムーズな情報共有が必要。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）

終了する（その理由： _____ ）

市が単独で実施する（その理由： _____ ）

団体が単独で実施する（その理由： _____ ）

その他（ _____ ）

継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

- 子どもの放課後の居場所の実績と必要性をより多くの方に情報発信し、特に土曜日午前開設は学校区である地域の方や保護者の方、また先生方にも理解と協力を求めている。
- 阪南市のすべての子どもたちが、「キッズはらっぱ」を利用できるように、小学校区に一つ子どもの居場所の設置が理想だが、人材確保が難しいのと子ども居場所に適した場所がないのが現状。多くの人に子どもの居場所の必要性を知ってもらい理解し、場所や人材確保などの協力を求める。
- 地域交流館から東鳥取公民館へ場所の変更に伴い、今まで利用していた子どもたちが平日の利用が出来なくなることを考え、土曜日午前開設の尾崎小学校の開催日数を増やす。たくさん利用してもらえようように、尾崎小学校限定の案内チラシを配布していく。
- 阪南市の子どもの現状を把握し、ニーズに合った居場所ができるよう、より細やかな情報共有を図る必要がある。
- 財源については、国の新・放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室推進事業として、大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金を受けており、対象経費を国・府・市において1/3ずつ負担している。今後も市の第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画に基づき市において予算措置を行う予定。

(5) その他

- 放課後の居場所事業は市または団体で単独の実施は難しく、今後も継続させていくためには、協働での事業実施は不可欠である。子どもたちが健やかに過ごせるまちづくりへとつなげていくためにも双方の関係性をより深め協力し、事業の発展へとつなげていきたい。

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年2月24日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	阪南吹奏楽団	(担当者名：寺嶋 達久)
担当課名	学校教育課	(担当者名：山本 朋美)
事業名	阪南フレンドシップコンサート	
事業の実施期間	令和2年(西暦2020年)4月～	
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()	
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(7年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

<p>学校生活の中で、子どもたちが様々な楽器に触れたり、生の吹奏楽の演奏を聴いたりする機会は少ない。そこで、阪南吹奏楽団の団員が習得している楽器演奏技術を子どもたちに伝えることで、音楽を通じた世代間交流をするとともに、子どもたちの向上心を喚起し、文化活動に対する意識を育み、青少年の健全育成を図る。</p>

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	子どもたちへの楽器演奏技術の伝授
事業担当課	学校と阪南吹奏楽団の連絡・調整

(3) 事業費

団体	0円	費目を記入
市	0円	費目を記入((例)補助金、委託費等)
合計	0円	

初年度の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
2年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円

3年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
4～7年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

<p>①名称</p> <p>②開催日時</p> <p>③開催場所</p> <p>④対象者</p> <p>⑤参加人数</p> <p>⑥事業の内容</p> <p>⑦収益</p> <p>⑧その他</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言や学校園の臨時休校、文部科学省発出の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」における、至近距離で行う管楽器演奏が感染リスクの高い学習活動とされていることなどを鑑み、今年度は実施しないことになった。</p>

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

--

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

--

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	-	-	-
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	-	-	-
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	-	-	-
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	-	-	-
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	-	-	-
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	-	-	-
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	-	-	-
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	-	-	-
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	-	-	-
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	-	-	-
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	-	-	-
	12	予算は妥当でしたか。	-	-	-
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	-	-	-
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	-	-	-

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

財源がない中ではあるが、これまでの実績から阪南吹奏楽団の団員の方々の指導により、生徒たちの技術向上や吹奏楽に取り組む姿勢がより前向きになったと考えている。3年前から、市内の中学校が吹奏楽コンクールにエントリーされるようになり、昨年度は2校が金賞を受賞したことも、阪南吹奏楽団の団員の方々の技術支援が生かされたと考える。

今後は、新型コロナウイルス感染症の対策として、換気や人数制限、Webの活用などを検討しながら、引き続き、事業を展開していく。

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年3月11日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	男里川水系環境保全活動実行委員会	(担当者名: 辻山 正甫)
担当課名	土木管理室	(担当者名: 廣谷 敏幸)
事業名	男里川水系一斉清掃行動及び、その他の活動	
事業の実施期間	令和 2年(西暦2020年) 4月 1日～ 3年(2021年) 3月31日	
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()	
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(8 年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

男里川水系(山・川・海)を阪南市の地域の宝として、未来の子どもたちに良好な環境で引き継ぐことを目的として、地域の皆さんが環境の素晴らしさを認識し、環境保全活動の重要性を理解し、広く推進する運動(活動)を定着させることを目指します。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川水系全域の一斉清掃活動: 年1回実施(令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策(緊急事態宣言中)で活動は中止)の計画策定・実施・運営 ・毎月の清掃活動(男里川河口部干潟と海岸部および金熊寺川のピオトープ施設) ・男里川環境保全啓発ポスター募集と展示会・カレンダー作成と配布の活動 ・水辺の学校(尾崎小学校4年生、2クラス、約60名)の校外での体験環境学習 ・夏休み親子の水生生物観察会(男里川菟砥橋)
事業担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動への協力と集められたゴミ等の処分 ・その他活動に係る応援

(3) 事業費

団体	約 30,000 円
市	0 円
合計	約 30,000 円

初年度の事業費計	0 円	団体分担	0 円	市分担	0 円
----------	-----	------	-----	-----	-----

2年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
6年目の事業費計	30,000円	団体分担	30,000円	市分担	0円
7年目の事業費計	30,000円	団体分担	30,000円	市分担	0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

① 名称	：男里川水系一斉清掃活動（令和2年度は、新型コロナ感染対策（緊急事態宣言中）で活動は中止）
② 開催日時	：毎年2月の第3土曜日
③ 開催場所	：男里川水系全域の地元自治会・区会の区域の範囲の各場所（計 20ヶ所）
④ 対象者	：阪南市・泉南市の市民・企業・行政の皆さん
⑤ 参加人数	：約200名以上
⑥ 事業の内容	：河川の清掃活動
⑦ 収益	：なし
⑧ その他	
① 名称	：毎月1回の月例活動
② 開催日時	：第4日曜日の午前中
③ 開催場所	：男里川水系の河口部干潟と海岸部、及び金熊寺川のピオトープ施設
④ 対象者	：会員と市民の皆様及び和歌山大学生
⑤ 参加人数	：約5名～15名程度
⑥ 事業の内容	：3か所の清掃活動とピオトープ施設の整備（施設内の用具の配置・道具の点検・樹木の選定等）
⑦ 収益	：なし
⑧ その他	
① 名称	：男里川水系の環境（山・川・海・空気）啓発ポスター募集・展示・カレンダー作成の活動
② 開催日時	：夏休みを利用し市内の小・中・高校生を対象に環境の啓発ポスターを募集し、展示・カレンダーの作成配布の活動
③ 開催場所	：阪南市内
④ 対象者	：阪南市内の小・中・高校生
⑤ 参加人数	：約200名～300名
⑥ 事業の内容	：子供たちに自然環境の大切さや、環境保全に関心を持ってもらう呼びかけのポスター作製と、一般市民を対象とした展示会及び、カレンダーの印刷配布（応募者）
⑦ 収益	：なし
⑧ その他	
① 名称	：男里川水系の菟砥橋で水辺の学校活動（校外授業の支援活動）
② 開催日時	：毎年夏休みの後の9～10月ごろ実施
③ 開催場所	：男里川の菟砥橋周辺
④ 対象者	：阪南市内の小学校生4年生2クラス60名（尾崎小学校を対象）
⑤ 参加人数	：約200名～300名
⑥ 事業の内容	：男里川で自然との体験学習として、水生生物の採捕体験や観察会・生き物の命との触れ合い体験と放流体験・川の防災・危険性の学習・清掃体験学習等の支援活動

⑦ 収益 : なし

⑧ その他

① 名称 : 男里川水系の菟砥橋で夏休みの親子の水生生物の観察会 (自然との触れ合い・遊び体験)

② 開催日時 : 毎年夏休みの8月11日(山の日)

③ 開催場所 : 男里川水系の菟砥橋地点

④ 対象者 : 阪南市・泉南市の市民の親子

⑤ 参加人数 : 約30名程度

⑥ 事業の内容 : 河川での水生生物の採捕法(生物の居場所とタモアミの使い方)・生物の観察会・生き物の命との触れ合体験と放流体験・水生生物の解説・質疑と応答

⑦ 収益 : なし

⑧ その他

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

①男里川水系一斉清掃活動: 阪南・泉南市民の皆さんから実施回数を増やす事や実施場所を広げる事など等のご意見があります。
また 毎年 阪南市長さんや、市役所の職員の皆様にも参加頂いています。

②毎月1回の月例活動: 活動は殆ど会員のみで実施の為参加人数が限られている。

③男里川水系の環境(山・川・海・空気)啓発ポスター募集・展示・カレンダー作成の活動:
教育委員会のご支援を戴き実施。先生はじめ、展示会の見学者からは、大変好評です。またポスターを用いたカレンダーは、先生や応募の子供たち、ご父兄の皆さんから大変好評を戴いております。

④男里川水系の菟砥橋で水辺の学校活動: 小学校の校長先生はじめ教頭先生・担任の先生方のご協力を戴き実施しています。特に子供たちからは、大変期待(楽しみな授業)であります。しかし他の小学校にも広げる見当もしましたが、川の現地に行く交通手段などの課題があり実現していません。

⑤男里川水系の菟砥橋で夏休みの親子の水生生物の観察会: 菟砥橋近くの子供会を中心に実施していますが、男里川流域の子供会にも呼びかければ、もっと広がる活動と思います。子供たちは水や生き物が大好きですが、親でも川遊びや魚とりなどの体験はありませんので出来ません。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

①男里川水系の菟砥橋で水辺の学校活動
: 他の小学校にも本活動を広げたいと思いますが、人材不足・時間不足で困難です。

②男里川水系の菟砥橋で夏休みの親子の水生生物の観察会
: 他の場所や回数を増やしたいと思いますが、人材・時間不足です。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点) ・あまりできなかった(2点)
 - ・できなかった(1点) ・評価項目として適当でない(N)

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	4	4	4
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	4	4	4
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	3	3.5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	4	3	3.5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	4	5	4.5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	4	4	4
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	4	4
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	4	4	4
	12	予算は妥当でしたか。	2	1	1.5
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	4	4
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	4	3	3.5

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が無い中、環境啓発のポスター応募とカレンダー作成を自費で実施し、応募者にお渡しし好評を得た。 ・水辺の学校等の活動で、子どもたちに自然体験等の貴重な体験学習をしてもらった。
行政にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・男里川の環境保全活動で、市民の方に環境の大切さの認識や環境保全が出来た。

市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の学校等の活動で、子どもたちの自然体験等は貴重な体験になった。
------------	--

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・活動費面で、必要な多くの活動が出来ていない、又継続の困難な活動もあります。 ・安全で安定した活動を継続し行う上で、多くの市民の皆さんにご参加頂ける体制の確保が困難となって来ています。更に会員の高齢化や人数の減少の課題があります。
行政 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の財政状況の悪化により、活動への費用面での補助が出来ていない。
市民 にとって	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でも多くの市民の皆さんに感心や参加を頂く為の工夫（PR・教育等）が難しい

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

<p>① 男里川水系一斉清掃活動</p> <p>： 年間の回数や場所の増加の為には、人材・費用・準備の時間不足で困難です。</p>
<p>② 毎月 1 回の月例活動</p> <p>： 活動の広報・呼びかけが出来ていません。</p>
<p>③ 男里川水系の環境（山・川・海・空気）啓発ポスター募集・展示・カレンダー作成の活動</p> <p>： 展示会が、場所の問題で最近は出来ていません。より多くの市民の皆様に見て戴き、環境保全の大切さの認識をして戴きたく考えます。</p> <p>また、カレンダーの制作費用がなく、縮小版になっています。応募の子供たちやご父兄様には、良い記念品となりますので、できれば大きな版のカレンダーを作成し渡してあげたいと思いますが予算不足で困難です。</p>
<p>④ 男里川水系の菟砥橋で水辺の学校活動</p> <p>： 他の小学校にも本活動を広げたいと思いますが、人材不足・時間不足で困難です。</p>
<p>⑤ 男里川水系の菟砥橋で夏休みの親子の水生生物の観察会</p> <p>： 他の場所や回数を増やしたいと思いますが、人材・時間不足です。</p>

(5) その他

--

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年3月12日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	子どもNPOはらっぱ （担当者名：川端 智代）
担当課名	学校教育課 （担当者名：花元 英夫）
事業名	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
事業の実施期間	令和2年（2020年）4月～
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ）
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年（5年目）

1. 事業の概要

（1）事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

子どもたちが安心、安全に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために子どもたちの心に寄り添い、声を聴き、提案団体と行政の情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。

（2）役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

団体	平日の乳幼児のおやこの居場所「リトル☆はらっぱ」「こどもセンター」、放課後や休日の居場所「キッズはらっぱ」、「チャイルドライン」など、日々の活動から聴かれた子どもたちの声や現状を行政に届ける。また行政からの情報を市民に届け、子どもたちの育ちを支える。
事業担当課	学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課から、それぞれの担当課から市内の子どもへのかかわりを紹介する。団体と連携できる事業などについて検討し、市内の子どもたちの健全な育成につなげる。

（3）事業費

団体	0 円	費目を記入
市	0 円	費目を記入（（例）補助金、委託費 等）
合計	0 円	

初年度の事業費計	0 円	団体分担	0 円	市分担	0 円
2年目の事業費計	0 円	団体分担	0 円	市分担	0 円
3年目の事業費計	0 円	団体分担	0 円	市分担	0 円

年目の事業費計	0	円	団体分担	0	円	市分担	0	円
---------	---	---	------	---	---	-----	---	---

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル
②開催日時	
③開催場所	
④対象者	
⑤参加人数	
⑥事業の内容	
⑦収益	
⑧その他	

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1学期2学期と開催を見送った。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた(5点) • よくできた(4点) • できた(3点) • あまりできなかった(2点)
 - できなかった(1点) • 評価項目として適当でない(N)
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	1	3	2
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	1	3	2
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	1	3	2
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	1	3	2
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	1	N	—
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	1	N	—
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	1	N	—
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	1	N	—
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	1	N	—
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	1	3	2
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	1	N	—
	12	予算は妥当でしたか。	1	3	2
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	1	3	2
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由
5~9・11	コロナ禍で会議自粛があり、実施していなかったため

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体にとって	子どもに関わる課と情報共有の関係づくりをすることで、子どもと保護者の現状や子どもの周りで起きている課題について話すことができる。話すことで関係づくりにも繋がっていくので、継続していきたい。
--------	--

行政 にとって	お互いの情報交換する機会を今後も継続して行っていきたい。
市民 にとって	子ども NPO はらっぱが、日常的に関わる子どもの現状や市民の声を行政に届け、阪南市の子どもを取り巻く状況について行政からの情報を市民に伝えることが出来る。関係団体及び関係課で情報共有することで、それぞれが担当する事業、取り組みの充実に繋げ、市民協働で子どもの育ちを支えるまちになっていきたい。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	学期ごとの開催を予定していたが 1 学期 2 学期とも開催できなかった。子ども NPO はらっぱが行う様々な事業を通して見えてくる親と子どもの現状や課題を行政の担当課と情報共有する意義ある機会であり、有効な情報交換ができると考える。時間を短縮する、小人数での情報交換の場を複数回もつなど、実施方法を工夫していきたい。
行政 にとって	協同事業として関係を深めるための手立てを、今後も継続して模索する必要があると考える。
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
 終了する（その理由： _____）
 市が単独で実施する（その理由： _____）
 団体が単独で実施する（その理由： _____）
 その他（ _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

子ども NPO はらっぱでは、コロナ禍にあっても子どもに関する事業は感染防止対策を講じながら実施しており、子どもにも保護者にも厳しい状況であることを感じていた。こんな時期だからこそ必要性を感じており、今後は、出席者の人数を減らす、換気など感染防止対策をしながら、実施できればと考える。子どもの現状や社会課題を解決する糸口を見出せる話し合いに発展させていきたい。

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 2021年 3月 1日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	本のリサイクル運営委員会	(担当者名: 横山 泰治)
担当課名	図書館	(担当者名: 箆谷 早織)
事業名	本のリサイクル関連事業	
事業の実施期間	令和2年(2020年)4月～	
提案の区分	<input type="checkbox"/> 市民自由提案部門	<input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(事業協力)	
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(4年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会に還元すること

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	除籍・不要の資料をリサイクル販売し、その収益を社会還元する。この活動を通じて生きがいを感じる市民活動の場とすると共に、本を媒介としての市民交流の場とする。
事業担当課	市立図書館で除籍した資料の再利用可能資料と不要な寄贈図書等を本のリサイクル運営委員会に無償譲与する。

(3) 事業費

団体	190,000円	費目を記入(売上)
市	0円	費目を記入((例)補助金、委託費等)
合計	190,000円	

初年度の事業費計	329,486円	団体分担	13,450円	市分担	316,036円
2年目の事業費計	355,527円	団体分担	355,527円	市分担	0円
3年目の事業費計	243,077円	団体分担	243,077円	市分担	0円
4年目の事業費計	見込 190,000円	団体分担	190,000円	市分担	0円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称	本のリサイクル運営委員会	リサイクルブック“つながり”
②開催日時	・店舗	：毎週土曜日 10:00 ~ 12:00 & 13:00 ~ 15:00
	・運営会議	：毎月第1木曜日 10:15 ~ 12:00 (1月・5月は第2木曜日、4月は総会のため休会)
	・総会	：毎年4月第2木曜日
	・役員会	：随時必要に応じて
	・各班活動	：随時必要に応じて
③開催場所	つながりスペース	
④対象者	“つながり”会員 (現在 36名)	
⑤参加人数	“つながり”会員全員	
⑥事業の内容	<p>市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会還元する。その活動を通じて、“つながり”会員全員が生きがいを感じる市民活動の場にする。また、本を媒介としてのつながりスペースを市民交流の場とする。</p> <p>具体的には、上記の通り、毎週土曜日の午前・午後にリサイクルブック“つながり”を開店し、資料のリサイクル販売を実施している。毎月1回運営委員会を開き、案件事項を検討・対処する。また、各班活動として、ディスプレイ(四季・祝祭事に合わせて)、各種チラシ等作成、イベント企画検討、議事録等印刷・封入など役割に応じて活動している。</p> <p>2020年度2月末時点の実績は、来館者1,994人、売上冊数3,523冊、収益169,270円となっている。図書館からは6,017冊(内訳：除籍資料2,383冊・除籍雑誌1,023冊・不要となった寄贈資料2,611冊)が“つながり”へ譲与された。</p> <p>今年度の収益から社会還元の一環として図書館の来年度の雑誌スポンサー7誌の年間購読料を負担することが決定している。</p>	
⑦収益	2020年度見込み	190,000円
	※ 新型コロナウイルス感染症対応の為 2020年3～2020年6月 営業中止	
⑧その他		

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

<p>図書館を考える会をベースとして、図書館フレンズ参加者が加わった形でスタートし、継続している。「明るく、楽しく、ちょっとロジカルに！」をモットーにしており、会員同士が顔を合わせる機会が年々増え、井戸端会議的な雰囲気、自由闊達に意見交換できるようになり、参加者自身が楽しく・生きがいを感じる交流の場になっている。また、徐々にではあるが、リサイクルブック“つながり”の存在が知られつつあり、本を媒介としての市民交流の場となりつつあると感じている。</p>

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

<p>参加者の年齢構成が高齢者主体であり、各種広報を通じての募集案内を実施した。また、赤ちゃんから年配者まで利用できる本屋さんを目指し、若い世代を含めた参加者獲得に向けて、各種広報活動や各種チラシを一新し、ブログ・インスタなどでの情報発信に努めている。更に、サラダホール来館者への宣伝活動の一環として、リサイクルブック“つながり”のシェードを作成し、サラダホール玄関入口左側に掲げる。</p>
--

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

（1）評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	4	4	4
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	3	3	3
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	4	4	4
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	3	3
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	3	3
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	4	4	4
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	N	3
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	3	3
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	3	3
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	3	3	3
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	3	3	3
	12	予算は妥当でしたか。	3	3	3
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	3	2	3
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由
7	当団体として自立運営しており、（除籍・寄贈不要）資料をご提供いただくにあたって、「得意分野や人材・情報を活かし・・・」の質問が適当ではない。

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	新型コロナウイルス感染症対応という不測の状況の中、行政・図書館・他団体の情報を共有化することで、当団体として店舗閉・開店、予防策対応等で適切に対応できた。 広報での図書館特集において、当団体が紹介され、市民へのPRとなった。
行政 にとって	図書館で不要となった本が活用され、その収益が市立図書館の雑誌購入に使われていることで、市の読書活動が推進されている。
市民 にとって	新しい人と人とのつながりも生まれ、市民交流が広がっている。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	つながりスペースを様々な団体が利用するようになり、共有スペース利用時に派生する様々な課題を共有化・改善する行政を含めた定期的な話し合いの場（会議）を設けることが必要。
行政 にとって	図書館運営が指定管理者運営に移管するにあたり、様々な情報の共有化、状況変化に対応できる話し合いの場（会議）の必要性を感じている。
市民 にとって	平日でのリサイクル資料の販売を希望するお客様の声がある。 （課題）お店番の人数確保が必要であり、参加会員の増員が不可欠である。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）

終了する（その理由：）

市が単独で実施する（その理由：）

団体が単独で実施する（その理由：）

その他（）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日のみならず、平日営業をできるようにリサイクル資料販売の拡大を目指していく。 ・ 市民交流の場であるつながりスペースの基盤団体として、創意工夫した雰囲気あるスペース作りにより、他団体のイメージ向上に役立ち、広く活用されるスペースの一翼を担えるように努めていく。 ・ “つながり” 会員が、多彩なスキルを活かし創意工夫を重ねながら、継続して明るく楽しく生きがいを感じる活動の場とし、その活動を様々な情報ツールを活用してPRし、販促・会員募集に繋げる。 ・ PRを兼ねて、イベントに合わせた臨時営業日を増やす。（新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら）
--

(5) その他

運営ボランティア募集

本が好き!

力を貸してください!



ロンくん

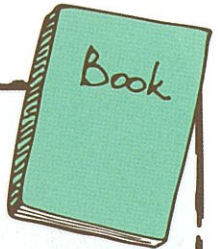
本の販売に興味がある
趣味や特技を活かしたい
運営・企画をしてみたい
そんなあなたの**力が必要**です!

まずはお尋ねください!



リアンちゃん

“つながり”って、こんなところです!



リサイクルブック“つながり”は、サラダホールの一
角にある安い古本屋さんです。

阪南市立図書館の除籍本や、一般からの寄贈本を
無償で譲り受け、低価格で販売し、その収益で公共施
設に本を寄贈するなどの形で**社会還元**する活動をし
ています。

ひとりでも、もちろん友達とでもOK!

まずはボランティアの活動内容や“つながり”につ
いてお話しします。ご不明な点など、お気軽にお尋ね
ください♪



お問い合わせはこちら



日々の活動について
ブログを書いています♪

☎072-471-9000

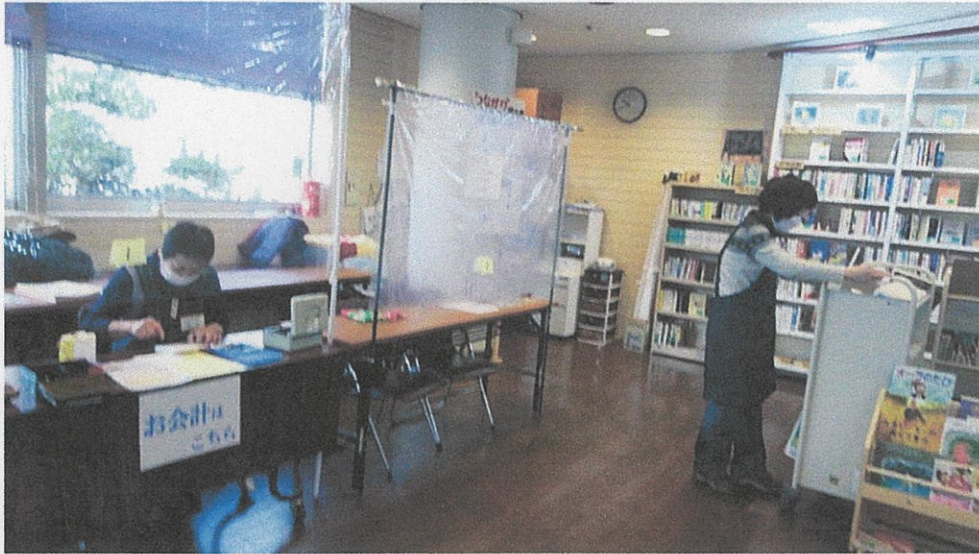
(阪南市立図書館事務局)

recyclebook.tunagari@gmail.com



リサイクルブック
“つながり”
Recycle Book
“TSUNAGARI”

リサイクルブックつながり 🔍



営業風景



運営会議風景

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年3月1日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	一般社団法人 泉州バリアフリー協会 (担当者名：嶋津 克彦)
担当課名	市民福祉課・まちの活力創造課 (担当者名：御坊谷、楠本)
事業名	阪南市やぐらパレードバリアフリーマップ作製とバリアフリー観覧席設置
事業の実施期間	令和2年(2020年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他()
事業の年度	<input type="checkbox"/> 初年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年(年目)

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

	泉州地域におけるバリアフリーを推進し、情報発信することによって、バリアフリーマーケットを確保し、循環型地域経済の再構築をめざす。又、ユニバーサルツーリズムの観点から、地域の豊かな自然環境、産業、歴史など様々な観光資源をあらゆる人が享受できるように、また「おもてなしの心」を持って紹介し、障がい者や高齢者が健常者とともに暮らすノーマライゼーション社会を寄与する事を目的とする。
--	---

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。
事業担当課	阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。

(3) 事業費

団体	0円 費目を記入
市	0円 費目を記入((例)補助金、委託費 等)
合計	0円

初年度の事業費計	123,768円	団体分担	123,768円	市分担	0円
2年目の事業費計	0円	団体分担	0円	市分担	0円
3年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円
年目の事業費計	円	団体分担	円	市分担	円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	—	—	—
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	—	—	—
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	—	—	—
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	—	—	—
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	—	—	—
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	—	—	—
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	—	—	—
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	—	—	—
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	—	—	—
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	—	—	—
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	—	—	—
	12	予算は妥当でしたか。	—	—	—
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	—	—	—
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	—	—	—

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	
行政 にとって	
市民 にとって	

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（泉州バリアフリー協会がサポートし、実行委員会形式での実施を検討する。 _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

来年度についても引き続き、他団体との協働による実行委員会形式での実施や、やぐらパレード実行委員会への参画を検討する。持続可能な実施のため、パレードコース、尾崎駅界隈の「まちあるき」の事業費確保のため、参加者負担等の一部有償化を検討する。

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和3年3月2日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

団体名	舞地区自主防災会	(担当者名: 会長 稲垣 哲彦)
担当課名	危機管理課	(担当者名: 主事 中泉 拓也)
事業名	舞校区 避難所運営マニュアルの作成	
事業の実施期間	令和2年(西暦2020年)4月1日~令和3年(2021年)3月31日	
提案の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(事業協力)	
事業の年度	<input checked="" type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年(年目)	

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

大規模災害時、避難所の運営体制を構築するため、マニュアルを作成する。また、避難所初動キットを作成することで、各自の役割を明確にし、発災直後の混乱時にも迅速に対応することが可能となり被害の減少が期待される。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

団体	避難所運営マニュアルの作成
事業担当課	団体との調整及び作成の後方支援

(3) 事業費

団体	23,140	円	費目を記入
市	0	円	費目を記入((例)補助金、委託費等)
合計	23,140	円	

初年度の事業費計	23,140	円	団体分担	23,140	円	市分担	0	円
2年目の事業費計		円	団体分担		円	市分担		円
3年目の事業費計		円	団体分担		円	市分担		円
年目の事業費計		円	団体分担		円	市分担		円

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

避難所運営マニュアル作成のワーキングや防災訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により中止という形をとった。多人数が集まったの検討は行わず、舞地区自主防災会 担当者が他団体の先行例を参考にしてたたき台を作成し、舞地区自主防災会で検討。検討した素案をもって、下記のとおり、説明会や協議を行った。

- ・令和2年6月2日 光陽台自治会へ説明会
- ・令和2年6月11日 危機管理課と協議
- ・令和2年12月13日 舞自治会へ説明会
- ・令和2年12月23日 危機管理課と協議
- ・令和3年2月7日 光陽台自治会へ説明

また、開設手順を箇条書きにした書類を作成すると共に、開設時に必要な物品を購入し、「避難所開設キット」として箱に収めた。開設キットは舞小学校の防災倉庫にセット予定である。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

マニュアル作成については新型コロナウイルス感染症の影響のため集まって作成することができなかった。

説明会を行った際、参加者の方は行政と市民の役割が少しわかりやすくなったことやマニュアルに基づいた訓練が必要との意見を頂戴した。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

当初想定していた避難所運営マニュアルについては発災～72時間までの内容を盛り込む予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により会議やワーキングが開催することができないことから、発災から避難所開設初期にあたる24時間以内の役割分担について焦点を当てて作成を行った。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

	評価項目		評価点		
			行政	団体	平均
事業実施前	1	協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。	3	2	2.5
	2	事業の到達目標を協議して設定しましたか。	4	3	3.5
	3	事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。	2	1	1.5
	4	事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。	3	3	3
事業実施中	5	進捗管理、必要な情報を共有しましたか。	3	3	3
	6	状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。	2	3	2.5
	7	お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。	3	2	2.5
事業実施後	8	設定した目標は達成できましたか。	3	2	2.5
	9	協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。	3	3	3
	10	責任の所在や役割分担は適切でしたか。	4	3	3.5
	11	事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。	2	1	1.5
	12	予算は妥当でしたか。	4	2	3
	13	事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。	4	3	3.5
	14	協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。	3	3	3

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

番号	理由

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

団体 にとって	避難所開設にあたって、行政と地域の役割がある程度明確となった。
行政 にとって	行政目線のマニュアルではなく、あくまで住民目線のマニュアルが完成したことで災害に対する深い知識があまりない人でも理解できるマニュアルが完成されたこと。
市民 にとって	自主防災組織の役員以外でも避難所開設に必要な準備や役割分担がわかりやすくなった。

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

団体 にとって	現在、作成しているマニュアルが完全だと考えず、防災訓練などを通して随時修正し、より充実したマニュアルに改善していくことが必要である。
行政 にとって	各地域によって、住民の年齢層や避難所運営体制にも違いがあるので、各自主防災組織ごとに自主的なマニュアル作成の必要性を感じた。
市民 にとって	避難所開設時、ある程度の役割分担が把握できたが、避難所運営に携わるにあたって、市民にとっての役割を引続き検討していく必要がある。

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

■初年度の場合、今後も協働事業として実施する（提案事業継続 ■提案事業以外）

- 終了する（その理由：）
市が単独で実施する（その理由：）
団体が単独で実施する（その理由：）
その他（）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

現在、避難所運営マニュアル及び初動キットの内容は発災直後から避難所開設時に当たる24時間以内までの期間に焦点を当てて進めてきた。今後は24時間後から72時間後までの区分として作成を検討しており、来年度以降も継続して作成を続けていく。団体としては現在のマニュアルを訓練などを通して改善を行い、マニュアルの更なる充実化を目指す。行政は今年度と同様の打合せや訓練開催のサポートなどの支援を行っていく。そして、避難所運営マニュアルが完成した際には、他の自主防災組織に先行例として参考にしていただき、各自主防災組織ごとのマニュアル作成を目指して啓発を行っていく。

(5) その他